

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) －トリプルリターンズ－

日本円・コース (毎月分配型)
豪ドル・コース (毎月分配型)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)
米ドル・コース (毎月分配型)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型)	約10年間 (2011年9月22日～ 2021年9月7日)
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	約8年3カ月間 (2013年5月 31日～2021年9月7日)
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (日本円・ クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (豪ドル・ クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	ブラジル・ リアル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (ブラジ ル・リアル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (米ドル・ クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
	通貨セレクト・ コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラストークロッキーU Sストラテジー・ファンド (通貨セ レクト・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの 受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価 益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行 なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額 を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、 分配を行わないことがあります。通貨セレクト・コース は、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)	第84期 (決算日 2018年10月9日)
豪ドル・コース (毎月分配型)	第85期 (決算日 2018年11月7日)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	第86期 (決算日 2018年12月7日)
米ドル・コース (毎月分配型)	第87期 (決算日 2019年1月7日)
	第88期 (決算日 2019年2月7日)
	第89期 (決算日 2019年3月7日)
	第64期 (決算日 2018年10月9日)
	第65期 (決算日 2018年11月7日)
	第66期 (決算日 2018年12月7日)
	第67期 (決算日 2019年1月7日)
	第68期 (決算日 2019年2月7日)
	第69期 (決算日 2019年3月7日)

(作成対象期間 2018年9月8日～2019年3月7日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3834>

<3835>

<3836>

<3837>

<5763>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配 金	期中 騰落 率	(参考指数)	期中 騰落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
60期末(2016年10月7日)	7,740	90	△ 0.9	18,519	△ 1.2	0.0	99.4	1,404
61期末(2016年11月7日)	7,345	90	△ 3.9	17,872	△ 3.5	0.0	95.5	1,278
62期末(2016年12月7日)	7,688	90	5.9	18,960	6.1	0.0	97.8	1,232
63期末(2017年1月10日)	7,776	90	2.3	19,446	2.6	0.0	98.5	1,200
64期末(2017年2月7日)	7,724	90	0.5	19,649	1.0	0.0	98.9	1,199
65期末(2017年3月7日)	7,892	90	3.3	20,358	3.6	0.0	95.7	1,187
66期末(2017年4月7日)	7,680	90	△ 1.5	20,205	△ 0.8	0.0	98.3	1,068
67期末(2017年5月8日)	7,649	90	0.8	20,564	1.8	0.0	98.2	1,025
68期末(2017年6月7日)	7,565	90	0.1	20,821	1.3	0.0	96.2	988
69期末(2017年7月7日)	7,543	90	0.9	20,653	△ 0.8	0.0	98.4	955
70期末(2017年8月7日)	7,545	90	1.2	21,228	2.8	0.0	98.9	935
71期末(2017年9月7日)	7,481	90	0.3	21,132	△ 0.5	—	98.3	898
72期末(2017年10月10日)	7,613	90	3.0	21,810	3.2	—	98.8	845
73期末(2017年11月7日)	7,406	90	△ 1.5	22,208	1.8	—	94.6	837
74期末(2017年12月7日)	7,282	90	△ 0.5	22,535	1.5	0.0	98.6	810
75期末(2018年1月9日)	7,568	90	5.2	23,550	4.5	—	98.6	846
76期末(2018年2月7日)	7,224	60	△ 3.8	23,099	△ 1.9	—	98.5	796
77期末(2018年3月7日)	7,309	60	2.0	23,382	1.2	—	98.3	784
78期末(2018年4月9日)	6,921	60	△ 4.5	22,322	△ 4.5	—	98.4	714
79期末(2018年5月7日)	6,823	60	△ 0.5	22,827	2.3	—	98.5	693
80期末(2018年6月7日)	7,042	60	4.1	23,761	4.1	—	98.5	708
81期末(2018年7月9日)	6,894	60	△ 1.2	23,654	△ 0.5	0.0	98.8	652
82期末(2018年8月7日)	7,021	60	2.7	24,430	3.3	0.0	99.0	649
83期末(2018年9月7日)	6,947	60	△ 0.2	24,667	1.0	—	99.0	623
84期末(2018年10月9日)	6,879	60	△ 0.1	24,722	0.2	—	98.7	610
85期末(2018年11月7日)	6,511	60	△ 4.5	23,616	△ 4.5	—	98.5	574
86期末(2018年12月7日)	6,381	60	△ 1.1	23,106	△ 2.2	—	98.8	559
87期末(2019年1月7日)	5,979	35	△ 5.8	21,701	△ 6.1	—	98.7	515
88期末(2019年2月7日)	6,371	35	7.1	23,412	7.9	—	98.6	546
89期末(2019年3月7日)	6,327	35	△ 0.1	23,753	1.5	0.0	99.2	531

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

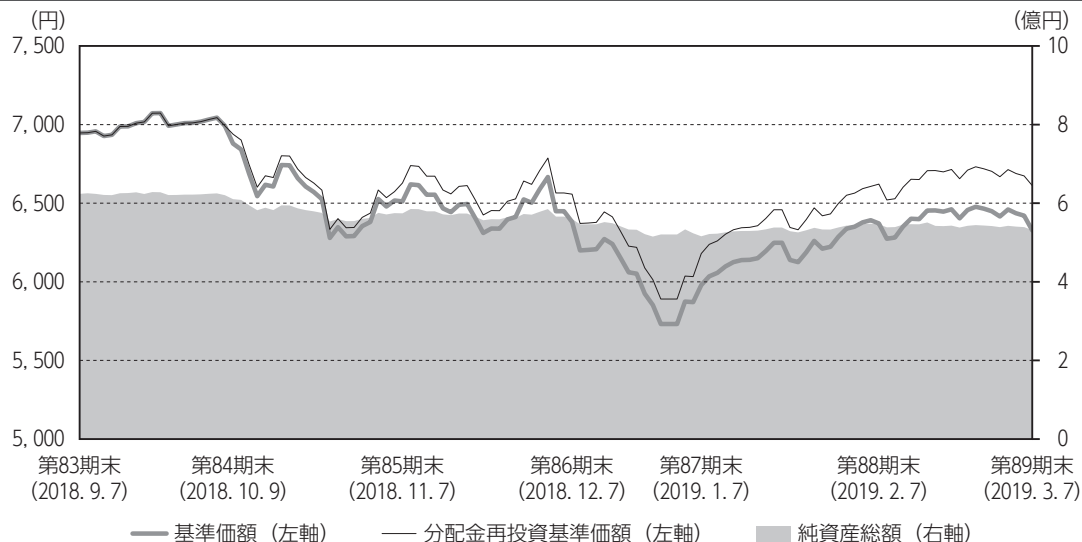
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第84期首：6,947円

第89期末：6,327円 (既払分配金285円)

騰落率：△4.8% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

主にクロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) に投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替ヘッジを行った結果、株価が下落したことや為替ヘッジコストがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)：オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第84期	(期首) 2018年 9月 7日	6,947	—	24,667	—	—	99.0
	9月末	7,009	0.9	24,975	1.2	—	98.6
	(期末) 2018年10月 9日	6,939	△ 0.1	24,722	0.2	—	98.7
第85期	(期首) 2018年10月 9日	6,879	—	24,722	—	—	98.7
	10月末	6,354	△ 7.6	22,992	△ 7.0	—	99.3
	(期末) 2018年11月 7日	6,571	△ 4.5	23,616	△ 4.5	—	98.5
第86期	(期首) 2018年11月 7日	6,511	—	23,616	—	—	98.5
	11月末	6,503	△ 0.1	23,465	△ 0.6	—	99.0
	(期末) 2018年12月 7日	6,441	△ 1.1	23,106	△ 2.2	—	98.8
第87期	(期首) 2018年12月 7日	6,381	—	23,106	—	—	98.8
	12月末	5,874	△ 7.9	21,331	△ 7.7	—	96.0
	(期末) 2019年 1月 7日	6,014	△ 5.8	21,701	△ 6.1	—	98.7
第88期	(期首) 2019年 1月 7日	5,979	—	21,701	—	—	98.7
	1月末	6,287	5.2	22,979	5.9	—	99.0
	(期末) 2019年 2月 7日	6,406	7.1	23,412	7.9	—	98.6
第89期	(期首) 2019年 2月 7日	6,371	—	23,412	—	—	98.6
	2月末	6,449	1.2	23,933	2.2	—	98.6
	(期末) 2019年 3月 7日	6,362	△ 0.1	23,753	1.5	0.0	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 9. 8 ～ 2019. 3. 7）

■ 米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市場は、当作成期首より、米中間の貿易摩擦の緩和期待などから上昇基調の展開となりましたが、2018年10月からは、米中貿易摩擦への懸念が再燃したほか、中国景気への懸念などを受けて下落しました。12月に入ると、景気の不透明感や金融政策への失望感も広がり、一段と下落しました。2019年1月から当作成期末にかけては、米中間の貿易交渉への楽観が広がったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げに慎重な姿勢などを背景に上昇しました。

■ 短期金利市況

日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国の短期金利は、F R BがF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1.75～2.00%から2.25～2.50%に引き上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

(2018. 9. 8 ~ 2019. 3. 7)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

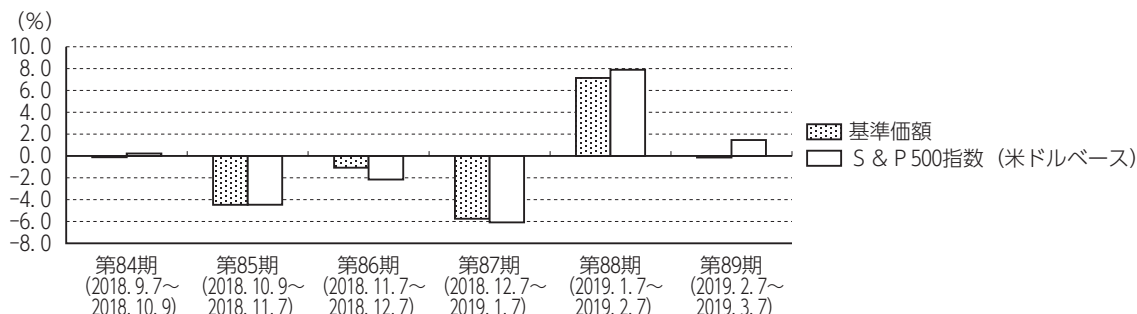
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2018年9月8日 ～2018年10月9日	2018年10月10日 ～2018年11月7日	2018年11月8日 ～2018年12月7日	2018年12月8日 ～2019年1月7日	2019年1月8日 ～2019年2月7日	2019年2月8日 ～2019年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	35	35	35
対基準価額比率 (%)	0.86	0.91	0.93	0.58	0.55	0.55
当期の収益 (円)	34	38	34	32	35	32
当期の収益以外 (円)	25	21	25	2	—	2
翌期繰越分配対象額 (円)	269	247	222	219	220	217

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 34.33円	✓ 38.44円	✓ 34.57円	✓ 32.36円	✓ 35.52円	✓ 32.23円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 295.07	✓ 269.43	✓ 247.90	✓ 222.49	219.91	✓ 219.92
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	✓ 0.52
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	329.41	307.88	282.48	254.86	255.43	252.68
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	35.00	35.00	35.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	269.41	247.88	222.48	219.86	220.43	217.68

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2018.9.8～2019.3.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	42円	0.655%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,439円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	42	0.658	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 376.30304	千円 29,441	千口 892.60928	千円 71,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

銘柄	第 84 期 ~			第 89 期		
	買 付			売 付		
	口 数	金 額	平均単価	口 数	金 額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 108.62628	千円 8,000	円 73	千口 892.60928	千円 71,000	円 79

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

区分	第 84 期 ~ 第 89 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 350	百万円 350	% 100.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	8,916,724	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	117,999	—	—	117,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	6,610,22666	527,092	99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月7日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	527,092	98.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	135	0.0
コール・ローン等、その他	7,626	1.5
投資信託財産総額	534,854	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 89 期 末		
	第83期末 口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	132	132	135

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年10月9日)、(2018年11月7日)、(2018年12月7日)、(2019年1月7日)、(2019年2月7日)、(2019年3月7日)現在

項 目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	616,373,587円	580,141,524円	572,919,146円	561,027,439円	549,938,209円	534,854,502円
コール・ローン等	13,888,301	14,391,742	5,755,486	21,933,404	11,513,838	7,626,506
投資信託受益証券 (評価額)	602,350,113	565,614,623	553,028,515	508,958,890	538,289,238	527,092,863
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	135,173	135,159	135,146	135,146	135,133	135,133
未収入金	—	—	13,999,999	29,999,999	—	—
(B) 負債	6,051,632	5,907,084	12,968,784	45,182,753	3,845,581	3,558,225
未払金	—	—	7,000,000	15,000,000	—	—
未払収益分配金	5,323,605	5,291,704	5,265,025	3,019,854	2,999,901	2,939,127
未払解約金	—	—	70,715	26,546,442	227,424	46,528
未払信託報酬	723,580	607,234	621,028	600,635	598,851	549,991
その他未払費用	4,447	8,146	12,016	15,822	19,405	22,579
(C) 純資産総額 (A - B)	610,321,955	574,234,440	559,950,362	515,844,686	546,092,628	531,296,277
元本	887,267,618	881,950,704	877,504,180	862,815,712	857,114,760	839,750,613
次期繰越損益金	△ 276,945,663	△ 307,716,264	△ 317,553,818	△ 346,971,026	△ 311,022,132	△ 308,454,336
(D) 受益権総口数	887,267,618口	881,950,704口	877,504,180口	862,815,712口	857,114,760口	839,750,613口
1万口当り基準価額 (C/D)	6,879円	6,511円	6,381円	5,979円	6,371円	6,327円

*第83期末における元本額は897,953,633円、当作成期間 (第84期~第89期) 中における追加設定元本額は47,334,800円、同解約元本額は105,537,820円です。

*第89期末の計算口数当りの純資産額は6,327円です。

*第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は308,454,336円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第84期 自 2018年9月8日 至 2018年10月9日 第86期 自 2018年11月8日 至 2018年12月7日 第88期 自 2019年1月8日 至 2019年2月7日
 第85期 自 2018年10月10日 至 2018年11月7日 第87期 自 2018年12月8日 至 2019年1月7日 第89期 自 2019年2月8日 至 2019年3月7日

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(A) 配当等収益	3,774,338円	4,001,852円	3,659,014円	3,397,407円	3,094,935円	3,259,893円
受取配当金	3,774,947	4,002,197	3,659,545	3,397,983	3,095,476	3,260,309
受取利息	3	1	—	—	—	1
支払利息	△ 612	△ 346	△ 531	△ 576	△ 541	△ 417
(B) 有価証券売買損益	△ 3,782,329	△ 30,500,959	△ 9,156,510	△ 33,053,018	△ 34,114,010	△ 3,500,374
売買益	140,622	210,140	90,473	2,362,261	34,217,578	80,285
売買損	△ 3,922,951	△ 30,711,099	△ 9,246,983	△ 35,415,279	△ 103,568	△ 3,580,659
(C) 信託報酬等	△ 728,024	△ 610,941	△ 624,927	△ 604,524	△ 602,529	△ 553,346
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	△ 736,015	△ 27,110,048	△ 6,122,423	△ 30,260,135	△ 36,606,416	△ 793,827
(E) 前期繰越損益金	△ 93,886,574	△ 96,798,673	△ 126,236,566	△ 128,372,692	△ 159,755,766	△ 123,270,449
(F) 追加信託差損益金	△ 176,999,469	△ 178,515,839	△ 179,929,804	△ 185,318,345	△ 184,872,881	△ 181,450,933
(配当等相当額)	(26,181,384)	(23,763,022)	(21,754,083)	(19,197,265)	(18,848,889)	(18,468,510)
(売買損益相当額)	(△ 203,180,853)	(△ 202,278,861)	(△ 201,683,887)	(△ 204,515,610)	(△ 203,721,770)	(△ 199,919,443)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 271,622,058	△ 302,424,560	△ 312,288,793	△ 343,951,172	△ 308,022,231	△ 305,515,209
(H) 収益分配金	△ 5,323,605	△ 5,291,704	△ 5,265,025	△ 3,019,854	△ 2,999,901	△ 2,939,127
次期繰越損益金 (G + H)	△ 276,945,663	△ 307,716,264	△ 317,553,818	△ 346,971,026	△ 311,022,132	△ 308,454,336
追加信託差損益金	△ 179,276,765	△ 180,416,634	△ 182,160,745	△ 185,545,320	△ 184,872,881	△ 181,639,643
(配当等相当額)	(23,904,088)	(21,862,227)	(19,523,142)	(18,970,290)	(18,848,889)	(18,279,800)
(売買損益相当額)	(△ 203,180,853)	(△ 202,278,861)	(△ 201,683,887)	(△ 204,515,610)	(△ 203,721,770)	(△ 199,919,443)
分配準備積立金	—	—	—	—	44,899	—
繰越損益金	△ 97,668,898	△ 127,299,630	△ 135,393,073	△ 161,425,706	△ 126,194,150	△ 126,814,693

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,046,309円	3,390,909円	3,034,084円	2,792,879円	3,044,800円	2,706,543円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	26,181,384	23,763,022	21,754,083	19,197,265	18,848,889	18,468,510
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	43,874
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	29,227,693	27,153,931	24,788,167	21,990,144	21,893,689	21,218,927
(f) 分配金	5,323,605	5,291,704	5,265,025	3,019,854	2,999,901	2,939,127
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	23,904,088	21,862,227	19,523,142	18,970,290	18,893,788	18,279,800
(h) 受益権総口数	887,267,618□	881,950,704□	877,504,180□	862,815,712□	857,114,760□	839,750,613□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	60円	60円	60円	35円	35円	35円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
60期末(2016年10月7日)	5,694	100	△ 0.4	18,519	△ 1.2	78.50	0.9	0.0	99.1	5,815
61期末(2016年11月7日)	5,404	100	△ 3.3	17,872	△ 3.5	79.78	1.6	0.0	98.7	5,210
62期末(2016年12月7日)	6,057	100	13.9	18,960	6.1	84.74	6.2	0.0	98.4	5,688
63期末(2017年1月10日)	6,126	100	2.8	19,446	2.6	85.16	0.5	0.0	98.6	5,615
64期末(2017年2月7日)	6,109	100	1.4	19,649	1.0	85.35	0.2	0.0	98.2	5,531
65期末(2017年3月7日)	6,261	100	4.1	20,358	3.6	86.48	1.3	0.0	99.0	5,569
66期末(2017年4月7日)	5,889	100	△ 4.3	20,205	△ 0.8	83.63	△ 3.3	0.0	98.7	5,104
67期末(2017年5月8日)	5,874	100	1.4	20,564	1.8	83.47	△ 0.2	0.0	98.8	5,013
68期末(2017年6月7日)	5,640	100	△ 2.3	20,821	1.3	82.17	△ 1.6	0.0	98.3	4,736
69期末(2017年7月7日)	5,843	100	5.4	20,653	△ 0.8	85.84	4.5	0.0	98.6	4,821
70期末(2017年8月7日)	5,952	100	3.6	21,228	2.8	87.86	2.4	0.0	98.5	4,728
71期末(2017年9月7日)	5,819	100	△ 0.6	21,132	△ 0.5	87.50	△ 0.4	—	98.8	4,457
72期末(2017年10月10日)	5,941	100	3.8	21,810	3.2	87.61	0.1	—	98.6	4,420
73期末(2017年11月7日)	5,749	100	△ 1.5	22,208	1.8	87.49	△ 0.1	—	98.2	4,089
74期末(2017年12月7日)	5,478	100	△ 3.0	22,535	1.5	84.91	△ 2.9	0.0	98.5	3,856
75期末(2018年1月9日)	5,940	100	10.3	23,550	4.5	88.86	4.7	—	98.9	4,113
76期末(2018年2月7日)	5,463	70	△ 6.9	23,099	△ 1.9	86.42	△ 2.7	—	98.3	3,677
77期末(2018年3月7日)	5,319	70	△ 1.4	23,382	1.2	82.15	△ 4.9	—	98.5	3,511
78期末(2018年4月9日)	4,968	70	△ 5.3	22,322	△ 4.5	82.13	△ 0.0	—	98.6	3,204
79期末(2018年5月7日)	4,895	70	△ 0.1	22,827	2.3	82.02	△ 0.1	—	99.4	3,112
80期末(2018年6月7日)	5,150	70	6.6	23,761	4.1	84.47	3.0	—	98.8	3,240
81期末(2018年7月9日)	4,883	70	△ 3.8	23,654	△ 0.5	82.27	△ 2.6	0.0	99.6	2,982
82期末(2018年8月7日)	4,972	70	3.3	24,430	3.3	82.23	△ 0.0	0.0	98.8	2,994
83期末(2018年9月7日)	4,770	45	△ 3.2	24,667	1.0	79.41	△ 3.4	—	98.7	2,763
84期末(2018年10月9日)	4,768	45	0.9	24,722	0.2	79.96	0.7	—	98.7	2,671
85期末(2018年11月7日)	4,593	45	△ 2.7	23,616	△ 4.5	82.02	2.6	—	98.8	2,514
86期末(2018年12月7日)	4,452	45	△ 2.1	23,106	△ 2.2	81.50	△ 0.6	—	98.6	2,380
87期末(2019年1月7日)	3,934	45	△ 10.6	21,701	△ 6.1	77.24	△ 5.2	—	98.4	2,033
88期末(2019年2月7日)	4,249	45	9.2	23,412	7.9	78.09	1.1	—	98.6	2,148
89期末(2019年3月7日)	4,217	45	0.3	23,753	1.5	78.50	0.5	0.0	98.7	2,086

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

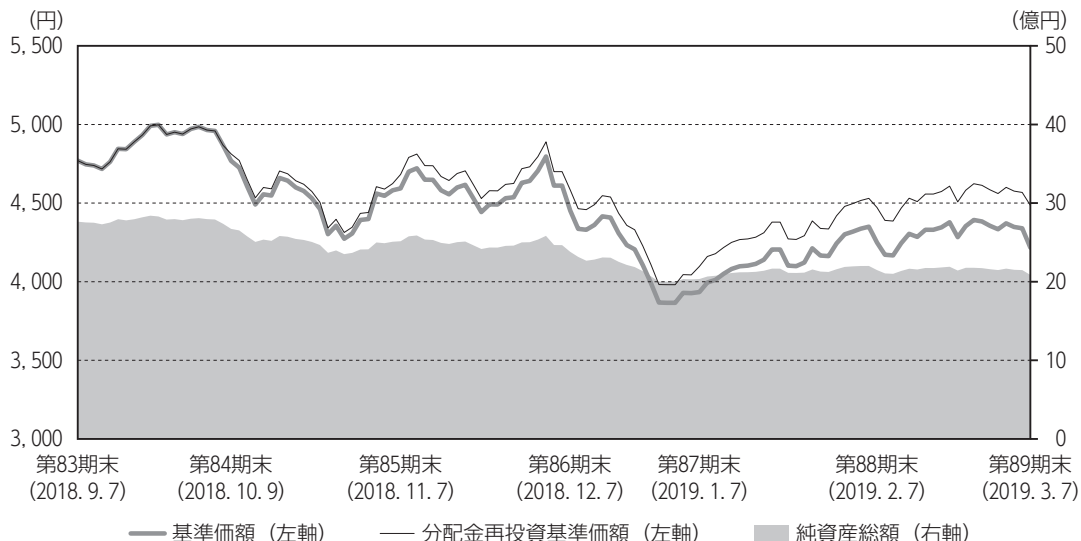
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第84期首：4,770円

第89期末：4,217円（既払分配金270円）

騰落率：△6.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にクロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）に投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用した結果、株価が下落したことや豪ドルが対円で下落したことがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第84期	(期首) 2018年 9月 7日	4,770	—	24,667	—	79.41	—	—	98.7
	9月末	4,939	3.5	24,975	1.2	81.83	3.0	—	99.1
	(期末) 2018年10月 9日	4,813	0.9	24,722	0.2	79.96	0.7	—	98.7
第85期	(期首) 2018年10月 9日	4,768	—	24,722	—	79.96	—	—	98.7
	10月末	4,393	△ 7.9	22,992	△ 7.0	80.24	0.4	—	99.6
	(期末) 2018年11月 7日	4,638	△ 2.7	23,616	△ 4.5	82.02	2.6	—	98.8
第86期	(期首) 2018年11月 7日	4,593	—	23,616	—	82.02	—	—	98.8
	11月末	4,641	1.0	23,465	△ 0.6	83.08	1.3	—	98.8
	(期末) 2018年12月 7日	4,497	△ 2.1	23,106	△ 2.2	81.50	△ 0.6	—	98.6
第87期	(期首) 2018年12月 7日	4,452	—	23,106	—	81.50	—	—	98.6
	12月末	3,929	△ 11.7	21,331	△ 7.7	78.18	△ 4.1	—	97.1
	(期末) 2019年 1月 7日	3,979	△ 10.6	21,701	△ 6.1	77.24	△ 5.2	—	98.4
第88期	(期首) 2019年 1月 7日	3,934	—	21,701	—	77.24	—	—	98.4
	1月末	4,243	7.9	22,979	5.9	78.96	2.2	—	99.2
	(期末) 2019年 2月 7日	4,294	9.2	23,412	7.9	78.09	1.1	—	98.6
第89期	(期首) 2019年 2月 7日	4,249	—	23,412	—	78.09	—	—	98.6
	2月末	4,356	2.5	23,933	2.2	79.34	1.6	—	99.4
	(期末) 2019年 3月 7日	4,262	0.3	23,753	1.5	78.50	0.5	0.0	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.9.8～2019.3.7)

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市場は、当作成期首より、米中間の貿易摩擦の緩和期待などから上昇基調の展開となりましたが、2018年10月からは、米中貿易摩擦への懸念が再燃したほか、中国景気への懸念などを受けて下落しました。12月に入ると、景気の不透明感や金融政策への失望感も広がり、一段と下落しました。2019年1月から当作成期末にかけては、米中間の貿易交渉への楽観が広がったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げに慎重な姿勢などを背景に上昇しました。

■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2018年11月にかけては、一進一退で推移したのち、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどから、豪ドル円は上昇しました。12月は、世界的な株価や原油価格の下落から市場のリスク回避姿勢が強まり、豪ドル円は下落しました。2019年に入ってから、市場のリスクオンの流れから、豪ドル円は上昇傾向で推移しました。

■短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、R B A（オーストラリア準備銀行）が政策金利を1.50%で据え置きました。一方、米国の短期金利は、F R BがF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1.75～2.00%から2.25～2.50%に引き上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率

はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

(2018. 9. 8 ~ 2019. 3. 7)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行いました。

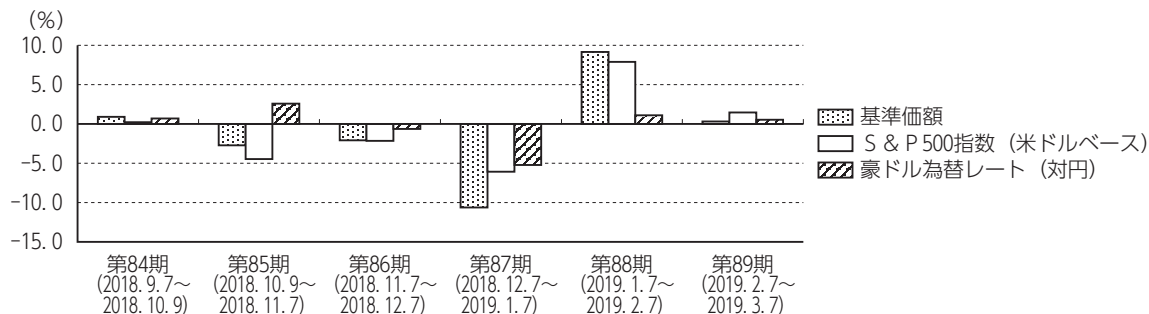
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2018年9月8日 ～2018年10月9日	2018年10月10日 ～2018年11月7日	2018年11月8日 ～2018年12月7日	2018年12月8日 ～2019年1月7日	2019年1月8日 ～2019年2月7日	2019年2月8日 ～2019年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	45	45	45	45	45	45
対基準価額比率 (%)	0.93	0.97	1.00	1.13	1.05	1.06
当期の収益 (円)	33	34	30	32	30	28
当期の収益以外 (円)	11	10	14	12	14	16
翌期繰越分配対象額 (円)	350	340	326	313	299	282

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 33.91円	✓ 34.91円	✓ 30.91円	✓ 32.12円	✓ 30.16円	✓ 28.41円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 362.01	✓ 350.94	✓ 340.86	✓ 326.78	✓ 313.93	✓ 299.10
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	395.93	385.85	371.78	358.90	344.10	327.52
(f) 分配金	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	350.93	340.85	326.78	313.90	299.10	282.52

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■ 当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ クロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICSの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2018. 9. 8～2019. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	29円	0. 654%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4, 433円です。
(投 信 会 社)	(9)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0. 428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	29	0. 658	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	1,394,84629	114,589	6,334,78014	528,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

第 84 期 ~				第 89 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	6,334,78014	528,000	83

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

区 分	第 84 期			第 89 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 350	百万円 350	100.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	8,916,724	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	117,999	—	—	117,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	25,814.39805	2,059,601	98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月7日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,059,601	97.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	654	0.0
コール・ローン等、その他	54,365	2.6
投資信託財産総額	2,114,621	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 89 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	643	643	654

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年10月9日)、(2018年11月7日)、(2018年12月7日)、(2019年1月7日)、(2019年2月7日)、(2019年3月7日)現在

項 目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	2,716,433,826円	2,544,314,155円	2,475,790,618円	2,061,591,093円	2,187,911,745円	2,114,621,803円
コール・ローン等	78,188,395	58,493,674	27,848,403	59,165,885	68,543,019	54,365,411
投資信託受益証券（評価額）	2,637,590,594	2,485,165,709	2,347,287,508	2,001,770,500	2,118,714,082	2,059,601,748
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	654,837	654,772	654,708	654,708	654,644	654,644
未収入金	—	—	99,999,999	—	—	—
(B) 負債	44,613,820	29,547,294	95,751,942	27,800,009	39,890,211	28,122,050
未払金	—	—	50,000,000	—	—	—
未払収益分配金	25,215,093	24,639,213	24,056,293	23,261,446	22,748,711	22,266,619
未払解約金	16,148,613	2,249,412	18,926,443	2,056,173	14,662,398	3,578,958
未払信託報酬	3,230,161	2,622,696	2,716,326	2,414,492	2,396,807	2,181,257
その他未払費用	19,953	35,973	52,880	67,898	82,295	95,216
(C) 純資産総額（A－B）	2,671,820,006	2,514,766,861	2,380,038,676	2,033,791,084	2,148,021,534	2,086,499,753
元本	5,603,354,111	5,475,380,708	5,345,842,991	5,169,210,436	5,055,269,315	4,948,137,614
次期繰越損益金	△ 2,931,534,105	△ 2,960,613,847	△ 2,965,804,315	△ 3,135,419,352	△ 2,907,247,781	△ 2,861,637,861
(D) 受益権総口数	5,603,354,111□	5,475,380,708□	5,345,842,991□	5,169,210,436□	5,055,269,315□	4,948,137,614□
1万口当り基準価額（C/D）	4,768円	4,593円	4,452円	3,934円	4,249円	4,217円

*第83期末における元本額は5,793,607,831円、当作成期間（第84期～第89期）中における追加設定元本額は84,427,559円、同解約元本額は929,897,776円です。

*第89期末の計算口数当りの純資産額は4,217円です。

*第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,861,637,861円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

項 目	第84期 自 2018年 9月 8日 至 2018年10月 9日 第85期 自 2018年10月10日 至 2018年11月 7日	第85期 自 2018年11月 8日 至 2018年12月 7日 第87期 自 2018年12月 8日 至 2019年 1月 7日	第86期 自 2018年11月 8日 至 2018年12月 7日 第88期 自 2019年 1月 8日 至 2019年 2月 7日	第87期 自 2018年12月 8日 至 2019年 1月 7日 第89期 自 2019年 2月 8日 至 2019年 3月 7日	第88期 自 2019年 1月 8日 至 2019年 2月 7日	第89期 自 2019年 2月 8日 至 2019年 3月 7日
(A) 配当等収益	21,546,978円	21,756,290円	19,259,320円	19,034,408円	15,450,788円	16,254,223円
受取配当金	21,549,735	21,757,702	19,260,665	19,036,373	15,452,756	16,255,542
受取利息	34	6	2	15	3	2
支払利息	△ 2,791	△ 1,418	△ 1,347	△ 1,980	△ 1,971	△ 1,321
(B) 有価証券売買損益	5,971,775	90,363,305	67,705,300	260,903,695	168,490,915	7,799,571
売買益	7,750,812	3,682,199	507,222	3,201,613	171,208,742	785,930
売買損	△ 1,779,037	△ 94,045,504	△ 68,212,522	△ 264,105,308	△ 2,717,827	△ 8,585,501
(C) 信託報酬等	△ 3,250,102	△ 2,638,774	△ 2,733,378	△ 2,429,794	△ 2,411,614	△ 2,194,602
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	24,268,651	△ 71,245,789	△ 51,179,358	△ 244,299,081	181,530,089	6,260,050
(E) 前期繰越損益金	△ 1,658,380,918	△ 1,610,958,460	△ 1,657,762,513	△ 1,664,253,854	△ 1,876,210,970	△ 1,670,235,538
(F) 追加信託差損益金	△ 1,272,206,745	△ 1,253,770,385	△ 1,232,806,151	△ 1,203,604,971	△ 1,189,818,189	△ 1,175,395,754
(配当等相当額)	(202,851,819)	(192,155,532)	(182,222,154)	(168,920,288)	(158,704,816)	(148,002,165)
(売買損益相当額)	(△ 1,475,058,564)	(△ 1,445,925,917)	(△ 1,415,028,305)	(△ 1,372,525,259)	(△ 1,348,523,005)	(△ 1,323,397,919)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,906,319,012	△ 2,935,974,634	△ 2,941,748,022	△ 3,112,157,906	△ 2,884,499,070	△ 2,839,371,242
(H) 収益分配金	△ 25,215,093	△ 24,639,213	△ 24,056,293	△ 23,261,446	△ 22,748,711	△ 22,266,619
次期繰越損益金 (G + H)	△ 2,931,534,105	△ 2,960,613,847	△ 2,965,804,315	△ 3,135,419,352	△ 2,907,247,781	△ 2,861,637,861
追加信託差損益金	△ 1,278,419,729	△ 1,259,292,117	△ 1,240,336,537	△ 1,210,261,837	△ 1,197,318,726	△ 1,183,602,780
(配当等相当額)	(196,638,835)	(186,633,800)	(174,691,768)	(162,263,422)	(151,204,279)	(139,795,139)
(売買損益相当額)	(△ 1,475,058,564)	(△ 1,445,925,917)	(△ 1,415,028,305)	(△ 1,372,525,259)	(△ 1,348,523,005)	(△ 1,323,397,919)
繰越損益金	△ 1,653,114,376	△ 1,701,321,730	△ 1,725,467,778	△ 1,925,157,515	△ 1,709,929,055	△ 1,678,035,081

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	19,002,109円	19,117,481円	16,525,907円	16,604,580円	15,248,174円	14,059,593円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	202,851,819	192,155,532	182,222,154	168,920,288	158,704,816	148,002,165
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	221,853,928	211,273,013	198,748,061	185,524,868	173,952,990	162,061,758
(f) 分配金	25,215,093	24,639,213	24,056,293	23,261,446	22,748,711	22,266,619
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	196,638,835	186,633,800	174,691,768	162,263,422	151,204,279	139,795,139
(h) 受益権総口数	5,603,354,111口	5,475,380,708口	5,345,842,991口	5,169,210,436口	5,055,269,315口	4,948,137,614口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	45円	45円	45円	45円	45円	45円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
60期末(2016年10月7日)	4,004	70	1.9	18,519	△ 1.2	32.13	1.3	0.0	99.3	108,731
61期末(2016年11月7日)	3,767	70	△ 4.2	17,872	△ 3.5	32.12	△ 0.0	0.0	98.7	98,855
62期末(2016年12月7日)	4,149	70	12.0	18,960	6.1	33.48	4.2	0.0	99.3	105,586
63期末(2017年1月10日)	4,605	70	12.7	19,446	2.6	36.25	8.3	0.0	98.8	114,384
64期末(2017年2月7日)	4,571	70	0.8	19,649	1.0	35.83	△ 1.2	0.0	98.6	110,071
65期末(2017年3月7日)	4,754	70	5.5	20,358	3.6	36.33	1.4	0.0	98.8	111,233
66期末(2017年4月7日)	4,524	70	△ 3.4	20,205	△ 0.8	35.29	△ 2.9	0.0	98.5	102,252
67期末(2017年5月8日)	4,494	70	0.9	20,564	1.8	35.48	0.5	0.0	99.0	99,378
68期末(2017年6月7日)	4,214	70	△ 4.7	20,821	1.3	33.40	△ 5.9	0.0	98.5	91,063
69期末(2017年7月7日)	4,327	70	4.3	20,653	△ 0.8	34.34	2.8	0.0	98.9	91,521
70期末(2017年8月7日)	4,501	70	5.6	21,228	2.8	35.35	2.9	0.0	98.5	93,203
71期末(2017年9月7日)	4,392	70	△ 0.9	21,132	△ 0.5	35.21	△ 0.4	—	98.6	88,650
72期末(2017年10月10日)	4,572	70	5.7	21,810	3.2	35.37	0.5	—	98.9	89,370
73期末(2017年11月7日)	4,333	70	△ 3.7	22,208	1.8	34.98	△ 1.1	—	98.9	83,152
74期末(2017年12月7日)	4,260	70	△ 0.1	22,535	1.5	34.76	△ 0.6	0.0	99.0	80,293
75期末(2018年1月9日)	4,471	70	6.6	23,550	4.5	34.95	0.5	—	98.9	82,741
76期末(2018年2月7日)	4,071	70	△ 7.4	23,099	△ 1.9	33.82	△ 3.2	—	98.5	74,168
77期末(2018年3月7日)	4,027	70	0.6	23,382	1.2	32.89	△ 2.7	—	98.6	72,555
78期末(2018年4月9日)	3,656	70	△ 7.5	22,322	△ 4.5	31.72	△ 3.6	—	98.4	65,309
79期末(2018年5月7日)	3,492	70	△ 2.6	22,827	2.3	30.88	△ 2.6	—	98.9	61,812
80期末(2018年6月7日)	3,321	70	△ 2.9	23,761	4.1	28.60	△ 7.4	—	98.8	57,864
81期末(2018年7月9日)	3,165	70	△ 2.6	23,654	△ 0.5	28.60	0.0	0.0	99.0	54,364
82期末(2018年8月7日)	3,391	70	9.4	24,430	3.3	29.79	4.2	0.0	98.7	57,499
83期末(2018年9月7日)	2,983	45	△ 10.7	24,667	1.0	27.24	△ 8.6	—	98.8	49,956
84期末(2018年10月9日)	3,251	45	10.5	24,722	0.2	29.90	9.8	—	98.7	52,730
85期末(2018年11月7日)	3,178	45	△ 0.9	23,616	△ 4.5	30.05	0.5	—	98.5	50,527
86期末(2018年12月7日)	2,955	45	△ 5.6	23,106	△ 2.2	29.04	△ 3.4	—	98.7	46,211
87期末(2019年1月7日)	2,772	45	△ 4.7	21,701	△ 6.1	29.20	0.6	—	98.5	42,621
88期末(2019年2月7日)	2,991	45	9.5	23,412	7.9	29.69	1.7	—	98.6	45,520
89期末(2019年3月7日)	2,940	45	△ 0.2	23,753	1.5	29.08	△ 2.1	0.0	98.5	44,116

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

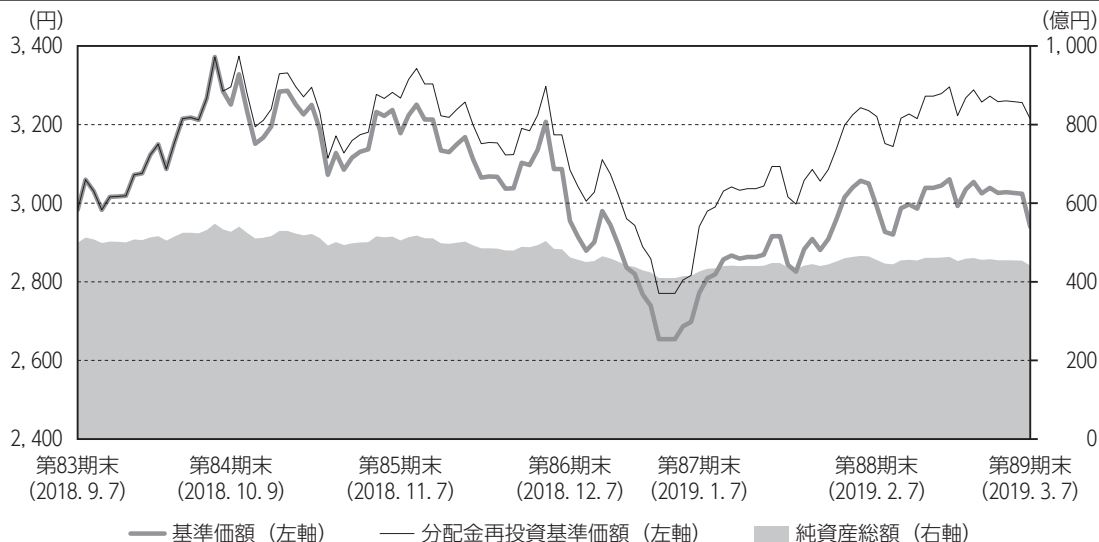
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第84期首：2,983円

第89期末：2,940円 (既払分配金270円)

騰落率：7.7% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

主にクロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) に投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用した結果、株価は下落したものの、為替取引によるプレミアム (金利差相当分の収益) やブラジル・リアルが対円で上昇したことがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)：オージェンタム・トラストクロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第84期	(期首) 2018年 9月 7日	2,983	—	24,667	—	27.24	—	—	98.8
	9月末	3,215	7.8	24,975	1.2	28.28	3.8	—	99.2
	(期末) 2018年10月 9日	3,296	10.5	24,722	0.2	29.90	9.8	—	98.7
第85期	(期首) 2018年10月 9日	3,251	—	24,722	—	29.90	—	—	98.7
	10月末	3,131	△ 3.7	22,992	△ 7.0	30.62	2.4	—	98.9
	(期末) 2018年11月 7日	3,223	△ 0.9	23,616	△ 4.5	30.05	0.5	—	98.5
第86期	(期首) 2018年11月 7日	3,178	—	23,616	—	30.05	—	—	98.5
	11月末	3,097	△ 2.5	23,465	△ 0.6	29.44	△ 2.0	—	99.4
	(期末) 2018年12月 7日	3,000	△ 5.6	23,106	△ 2.2	29.04	△ 3.4	—	98.7
第87期	(期首) 2018年12月 7日	2,955	—	23,106	—	29.04	—	—	98.7
	12月末	2,687	△ 9.1	21,331	△ 7.7	28.59	△ 1.5	—	96.4
	(期末) 2019年 1月 7日	2,817	△ 4.7	21,701	△ 6.1	29.20	0.6	—	98.5
第88期	(期首) 2019年 1月 7日	2,772	—	21,701	—	29.20	—	—	98.5
	1月末	2,959	6.7	22,979	5.9	29.59	1.3	—	98.9
	(期末) 2019年 2月 7日	3,036	9.5	23,412	7.9	29.69	1.7	—	98.6
第89期	(期首) 2019年 2月 7日	2,991	—	23,412	—	29.69	—	—	98.6
	2月末	3,039	1.6	23,933	2.2	29.72	0.1	—	98.9
	(期末) 2019年 3月 7日	2,985	△ 0.2	23,753	1.5	29.08	△ 2.1	0.0	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018.9.8～2019.3.7）

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市場は、当作成期首より、米中間の貿易摩擦の緩和期待などから上昇基調の展開となりましたが、2018年10月からは、米中貿易摩擦への懸念が再燃したほか、中国景気への懸念などを受けて下落しました。12月に入ると、景気の不透明感や金融政策への失望感も広がり、一段と下落しました。2019年1月から当作成期末にかけては、米中間の貿易交渉への楽観が広がったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げに慎重な姿勢などを背景に上昇しました。

■為替相場

ブラジル・リアルは対円で上昇しました。

当作成期首から2018年10月にかけては、大統領選挙の結果を好感してリアルは上昇しました。その後は2018年末にかけて、世界的な株価調整を背景としたリスク回避的な円買いもあり、リアル円は上げ幅を縮小させました。2019年に入ってから、ボルソナロ新政権への改革期待などを受けリアル円は上昇しました。

■短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を6.50%で据え置きました。一方、米国の短期金利は、F R BがF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1.75～2.00%から2.25～2.50%に引き上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率

はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

(2018. 9. 8 ~ 2019. 3. 7)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行いました。

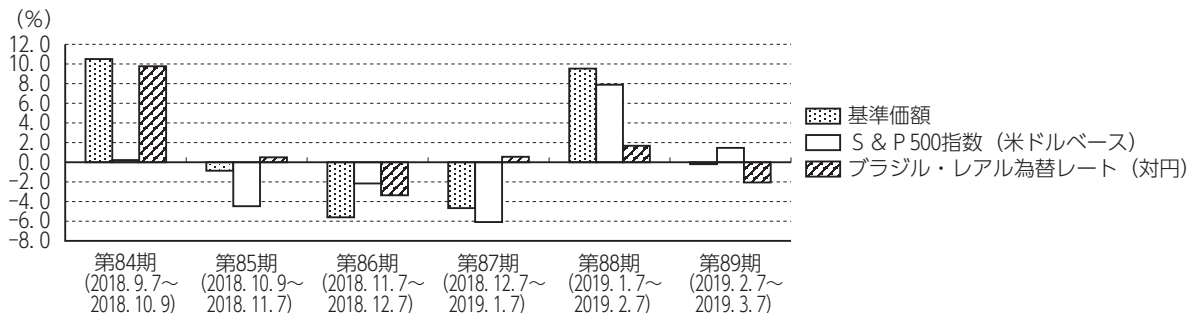
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2018年9月8日 ～2018年10月9日	2018年10月10日 ～2018年11月7日	2018年11月8日 ～2018年12月7日	2018年12月8日 ～2019年1月7日	2019年1月8日 ～2019年2月7日	2019年2月8日 ～2019年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	45	45	45	45	45	45
対基準価額比率 (%)	1.37	1.40	1.50	1.60	1.48	1.51
当期の収益 (円)	38	31	31	33	25	25
当期の収益以外 (円)	6	13	13	11	19	19
翌期繰越分配対象額 (円)	1,275	1,261	1,248	1,236	1,217	1,198

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 38.26円	✓ 31.50円	✓ 31.10円	✓ 33.48円	✓ 25.91円	✓ 25.74円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,282.17	✓ 1,275.44	✓ 1,261.95	✓ 1,248.06	✓ 1,236.56	✓ 1,217.51
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,320.43	1,306.95	1,293.05	1,281.54	1,262.48	1,243.26
(f) 分配金	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,275.43	1,261.95	1,248.05	1,236.54	1,217.48	1,198.26

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2018. 9. 8～2019. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	20円	0. 652%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3, 029円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0. 213)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0. 427)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(0)	(0. 012)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	20	0. 654	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2018年9月8日から2019年3月7日まで）

決算期	第 84 期 ～ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 68,703.76782	千円 3,148,601	千口 213,343.96001	千円 9,900,000

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2018年9月8日から2019年3月7日まで）

第 84 期 ～				第 89 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS（ケイマン諸島）	213,343.96001	9,900,000	46

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

（2018年9月8日から2019年3月7日まで）

区 分	第 84 期			第 89 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 350	百万円 350	% 100.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	8,916,724	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	117,999	—	—	117,999	—	—

（注）平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	943,062.71503	43,435,582	98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月7日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	43,435,582	96.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,480	0.0
コール・ローン等、その他	1,463,314	3.3
投資信託財産総額	44,903,377	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 89 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,401	4,401	4,480

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年10月9日)、(2018年11月7日)、(2018年12月7日)、(2019年1月7日)、(2019年2月7日)、(2019年3月7日)現在

項 目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	53,707,107,054円	51,479,124,102円	48,590,635,007円	43,501,305,781円	46,348,810,048円	44,903,377,760円
コール・ローン等	1,642,631,152	1,720,749,922	186,388,126	1,520,341,120	1,467,468,434	1,463,314,831
投資信託受益証券 (評価額)	52,059,994,180	49,753,892,898	45,599,766,039	41,976,483,819	44,876,861,213	43,435,582,528
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	4,481,722	4,481,282	4,480,842	4,480,842	4,480,401	4,480,401
未収入金	—	—	2,800,000,000	—	—	—
(B) 負債	976,728,673	951,439,609	2,379,276,749	879,613,465	828,708,751	787,211,745
未払金	—	—	1,400,000,000	—	—	—
未払収益分配金	729,895,614	715,401,149	703,744,537	691,996,431	684,771,899	675,140,040
未払解約金	186,956,221	181,687,568	221,078,981	138,240,997	93,032,056	64,853,573
未払信託報酬	59,680,466	53,980,320	53,893,914	48,639,305	49,967,604	46,118,939
その他未払費用	196,372	370,572	559,317	736,732	937,192	1,099,193
(C) 純資産総額 (A - B)	52,730,378,381	50,527,684,493	46,211,358,258	42,621,692,316	45,520,101,297	44,116,166,015
元本	162,199,025,351	158,978,033,141	156,387,674,891	153,776,984,674	152,171,533,232	150,031,120,034
次期繰越損益金	△109,468,646,970	△108,450,348,648	△110,176,316,633	△111,155,292,358	△106,651,431,935	△105,914,954,019
(D) 受益権総口数	162,199,025,351口	158,978,033,141口	156,387,674,891口	153,776,984,674口	152,171,533,232口	150,031,120,034口
1万口当り基準価額 (C/D)	3,251円	3,178円	2,955円	2,772円	2,991円	2,940円

*第83期末における元本額は167,486,152,610円、当作成期間 (第84期～第89期) 中における追加設定元本額は3,116,254,229円、同解約元本額は20,571,286,805円です。

*第89期末の計算口数当りの純資産額は2,940円です。

*第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は105,914,954,019円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第84期 自 2018年9月8日 至 2018年10月9日 第86期 自 2018年11月8日 至 2018年12月7日 第88期 自 2019年1月8日 至 2019年2月7日
 第85期 自 2018年10月10日 至 2018年11月7日 第87期 自 2018年12月8日 至 2019年1月7日 第89期 自 2019年2月8日 至 2019年3月7日

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(A) 配当等収益	627,921,526円	555,071,306円	540,456,139円	563,754,505円	399,279,012円	432,529,002円
受取配当金	627,969,752	555,105,342	540,496,514	563,782,560	399,322,551	432,564,893
受取利息	477	113	44	153	41	53
支払利息	△ 48,703	△ 34,149	△ 40,419	△ 28,208	△ 43,580	△ 35,944
(B) 有価証券売買損益	4,511,449,518	940,939,457	3,275,355,949	2,640,748,314	3,676,456,416	475,620,963
売買益	4,555,174,048	22,434,646	23,700,149	43,620,844	3,697,332,545	5,350,868
売買損	△ 43,724,530	△ 963,374,103	△ 3,299,056,098	△ 2,684,369,158	△ 20,876,129	△ 480,971,831
(C) 信託報酬等	△ 59,876,619	△ 54,155,592	△ 54,085,235	△ 48,825,773	△ 50,173,272	△ 46,289,285
(D) 当期損益金 (A + B + C)	5,079,494,425	△ 440,023,743	△ 2,788,985,045	△ 2,125,819,582	4,025,562,156	△ 89,381,246
(E) 前期繰越損益金	△ 66,361,821,585	△ 60,513,611,557	△ 60,285,131,959	△ 62,317,871,705	△ 64,018,334,952	△ 59,287,639,040
(F) 追加信託差損益金	△ 47,456,424,196	△ 46,781,312,199	△ 46,398,455,092	△ 46,019,604,640	△ 45,973,887,240	△ 45,862,793,693
(配当等相当額)	(20,796,781,105)	(20,276,739,240)	(19,735,480,626)	(19,192,298,593)	(18,817,044,080)	(18,266,583,812)
(売買損益相当額)	(△ 68,253,205,301)	(△ 67,058,051,439)	(△ 66,133,935,718)	(△ 65,211,903,233)	(△ 64,790,931,320)	(△ 64,129,377,505)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 108,738,751,356	△ 107,734,947,499	△ 109,472,572,096	△ 110,463,295,927	△ 105,966,660,036	△ 105,239,813,979
(H) 収益分配金	△ 729,895,614	△ 715,401,149	△ 703,744,537	△ 691,996,431	△ 684,771,899	△ 675,140,040
次期繰越損益金 (G + H)	△ 109,468,646,970	△ 108,450,348,648	△ 110,176,316,633	△ 111,155,292,358	△ 106,651,431,935	△ 105,914,954,019
追加信託差損益金	△ 47,565,715,495	△ 46,995,797,901	△ 46,615,828,980	△ 46,196,672,593	△ 46,264,297,390	△ 46,151,694,235
(配当等相当額)	(20,687,489,806)	(20,062,253,538)	(19,518,106,738)	(19,015,230,640)	(18,526,633,930)	(17,977,683,270)
(売買損益相当額)	(△ 68,253,205,301)	(△ 67,058,051,439)	(△ 66,133,935,718)	(△ 65,211,903,233)	(△ 64,790,931,320)	(△ 64,129,377,505)
繰越損益金	△ 61,902,931,475	△ 61,454,550,747	△ 63,560,487,653	△ 64,958,619,765	△ 60,387,134,545	△ 59,763,259,784

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	620,604,315円	500,915,447円	486,370,649円	514,928,478円	394,361,749円	386,239,498円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	20,796,781,105	20,276,739,240	19,735,480,626	19,192,298,593	18,817,044,080	18,266,583,812
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	21,417,385,420	20,777,654,687	20,221,851,275	19,707,227,071	19,211,405,829	18,652,823,310
(f) 分配金	729,895,614	715,401,149	703,744,537	691,996,431	684,771,899	675,140,040
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	20,687,489,806	20,062,253,538	19,518,106,738	19,015,230,640	18,526,633,930	17,977,683,270
(h) 受益権総口数	162,199,025,351口	158,978,033,141口	156,387,674,891口	153,776,984,674口	152,171,533,232口	150,031,120,034口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	45円	45円	45円	45円	45円	45円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
60期末 (2016年10月7日)	8,333	200	0.9	25,034	1.1	0.0	98.4	13,756
61期末 (2016年11月7日)	7,754	200	△ 4.5	24,207	△ 3.3	0.0	98.6	12,719
62期末 (2016年12月7日)	8,880	200	17.1	28,207	16.5	0.0	97.9	14,642
63期末 (2017年1月10日)	9,099	200	4.7	29,381	4.2	0.0	98.0	15,090
64期末 (2017年2月7日)	8,642	200	△ 2.8	28,609	△ 2.6	0.0	98.5	14,350
65期末 (2017年3月7日)	8,865	200	4.9	30,234	5.7	0.0	98.4	14,910
66期末 (2017年4月7日)	8,318	200	△ 3.9	29,204	△ 3.4	0.0	98.1	14,291
67期末 (2017年5月8日)	8,273	200	1.9	30,207	3.4	0.0	98.7	14,172
68期末 (2017年6月7日)	7,950	140	△ 2.2	29,714	△ 1.6	0.0	98.4	13,815
69期末 (2017年7月7日)	8,178	140	4.6	30,484	2.6	0.0	99.1	13,319
70期末 (2017年8月7日)	7,970	140	△ 0.8	30,613	0.4	0.0	98.5	12,498
71期末 (2017年9月7日)	7,718	140	△ 1.4	30,063	△ 1.8	—	98.8	11,639
72期末 (2017年10月10日)	8,114	140	6.9	32,043	6.6	—	99.3	11,585
73期末 (2017年11月7日)	7,950	140	△ 0.3	32,908	2.7	—	98.4	11,261
74期末 (2017年12月7日)	7,667	140	△ 1.8	33,034	0.4	0.0	99.1	10,690
75期末 (2018年1月9日)	8,015	140	6.4	34,722	5.1	—	98.6	10,984
76期末 (2018年2月7日)	7,339	140	△ 6.7	32,920	△ 5.2	—	98.7	9,943
77期末 (2018年3月7日)	7,141	140	△ 0.8	32,177	△ 2.3	—	98.7	9,614
78期末 (2018年4月9日)	6,758	140	△ 3.4	31,082	△ 3.4	—	98.5	9,050
79期末 (2018年5月7日)	6,773	140	2.3	32,405	4.3	—	99.1	8,996
80期末 (2018年6月7日)	6,929	140	4.4	34,105	5.2	—	98.5	9,309
81期末 (2018年7月9日)	6,743	140	△ 0.7	34,052	△ 0.2	0.0	98.5	8,794
82期末 (2018年8月7日)	6,860	140	3.8	35,434	4.1	0.0	98.4	8,954
83期末 (2018年9月7日)	6,736	90	△ 0.5	35,517	0.2	—	98.4	8,765
84期末 (2018年10月9日)	6,835	90	2.8	36,388	2.5	—	98.8	8,553
85期末 (2018年11月7日)	6,427	90	△ 4.7	34,817	△ 4.3	—	98.6	7,998
86期末 (2018年12月7日)	6,222	90	△ 1.8	33,956	△ 2.5	—	98.8	7,601
87期末 (2019年1月7日)	5,572	90	△ 9.0	30,683	△ 9.6	—	98.9	6,786
88期末 (2019年2月7日)	5,984	90	9.0	33,536	9.3	—	98.9	7,241
89期末 (2019年3月7日)	6,003	90	1.8	34,561	3.1	0.0	98.6	7,055

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

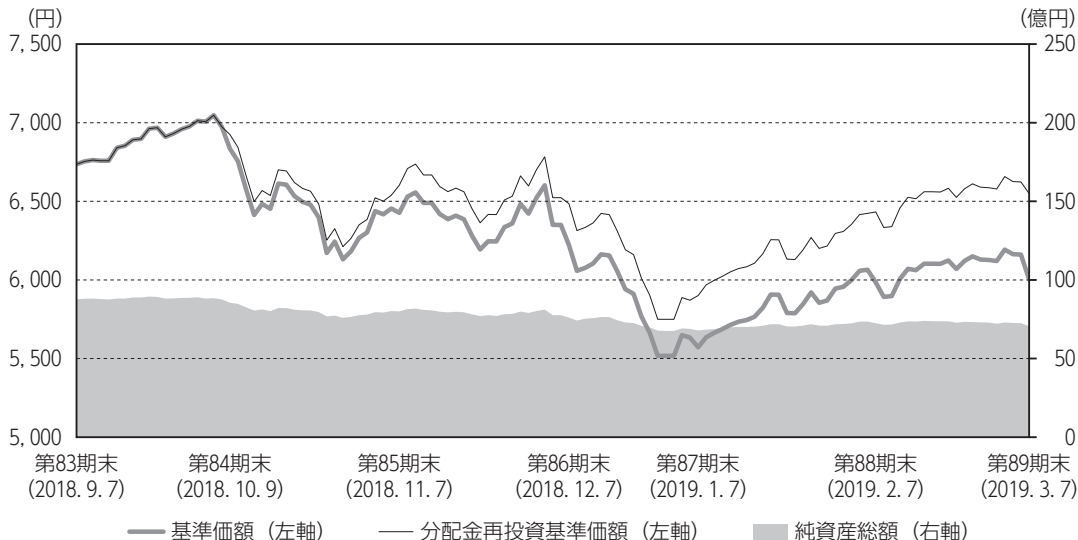
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第84期首：6,736円

第89期末：6,003円 (既払分配金540円)

騰落率：△2.8% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の主な変動要因

主にクロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) に投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、米ドルが対円で上昇したことはプラスに寄与しましたが、株価が下落したことがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)：オージェンタム・トラスト
クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第84期	(期首) 2018年 9月 7日	6,736	—	35,517	—	—	98.4
	9月末	6,959	3.3	36,957	4.1	—	99.3
	(期末) 2018年10月 9日	6,925	2.8	36,388	2.5	—	98.8
第85期	(期首) 2018年10月 9日	6,835	—	36,388	—	—	98.8
	10月末	6,268	△ 8.3	33,929	△ 6.8	—	98.6
	(期末) 2018年11月 7日	6,517	△ 4.7	34,817	△ 4.3	—	98.6
第86期	(期首) 2018年11月 7日	6,427	—	34,817	—	—	98.6
	11月末	6,422	△ 0.1	34,691	△ 0.4	—	99.3
	(期末) 2018年12月 7日	6,312	△ 1.8	33,956	△ 2.5	—	98.8
第87期	(期首) 2018年12月 7日	6,222	—	33,956	—	—	98.8
	12月末	5,649	△ 9.2	30,850	△ 9.1	—	96.8
	(期末) 2019年 1月 7日	5,662	△ 9.0	30,683	△ 9.6	—	98.9
第88期	(期首) 2019年 1月 7日	5,572	—	30,683	—	—	98.9
	1月末	5,945	6.7	32,622	6.3	—	99.2
	(期末) 2019年 2月 7日	6,074	9.0	33,536	9.3	—	98.9
第89期	(期首) 2019年 2月 7日	5,984	—	33,536	—	—	98.9
	2月末	6,127	2.4	34,572	3.1	—	99.3
	(期末) 2019年 3月 7日	6,093	1.8	34,561	3.1	0.0	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018.9.8～2019.3.7）

■ 米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市場は、当作成期首より、米中間の貿易摩擦の緩和期待などから上昇基調の展開となりましたが、2018年10月からは、米中貿易摩擦への懸念が再燃したほか、中国景気への懸念などを受けて下落しました。12月に入ると、景気の不透明感や金融政策への失望感も広がり、一段と下落しました。2019年1月から当作成期末にかけては、米中間の貿易交渉への楽観が広がったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げに慎重な姿勢などを背景に上昇しました。

■ 為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2018年12月半ばまでは、米国の堅調な経済指標などを背景に円安米ドル高となりました。その後は、株価や原油価格が下落し市場のリスク回避姿勢が強まったことから、円高米ドル安となりました。2019年1月から当作成期末にかけては、F R Bが利上げについて柔軟に対応する姿勢を見せたことなどを背景に、円安米ドル高となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準（G I C S）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

(2018. 9. 8 ~ 2019. 3. 7)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

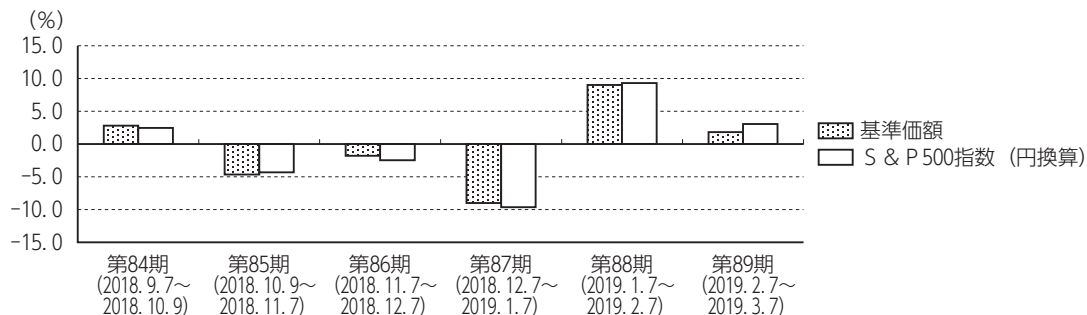
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2018年9月8日 ～2018年10月9日	2018年10月10日 ～2018年11月7日	2018年11月8日 ～2018年12月7日	2018年12月8日 ～2019年1月7日	2019年1月8日 ～2019年2月7日	2019年2月8日 ～2019年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	90	90	90	90	90	90
対基準価額比率 (%)	1.30	1.38	1.43	1.59	1.48	1.48
当期の収益 (円)	52	49	45	46	44	45
当期の収益以外 (円)	37	40	44	43	45	44
翌期繰越分配対象額 (円)	1,385	1,345	1,300	1,257	1,212	1,167

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 52.25円	✓ 49.37円	✓ 45.46円	✓ 46.69円	✓ 44.67円	✓ 45.18円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,423.19	✓ 1,386.05	✓ 1,345.47	✓ 1,300.96	✓ 1,257.93	✓ 1,212.69
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,475.45	1,435.42	1,390.94	1,347.65	1,302.60	1,257.87
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,385.45	1,345.42	1,300.94	1,257.65	1,212.60	1,167.87

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2018.9.8～2019.3.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	41円	0.655%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,246円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0.659	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	3,878.49987	474,575	12,514.26408	1,560,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

買 付	第 84 期 ~			第 89 期			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
銘 柄	千口	千円	円	銘 柄	千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	742.50074	90,000	121	CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	12,514.26408	1,560,000	124

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	350	350	100.0	—	—	—
コール・ローン	8,916,724	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	117,999	—	—	117,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	56,757.68206	6,958,208	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月7日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	6,958,208	96.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	13	0.0
コール・ローン等、その他	229,240	3.2
投資信託財産総額	7,187,461	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 89 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	12	13

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年10月9日)、(2018年11月7日)、(2018年12月7日)、(2019年1月7日)、(2019年2月7日)、(2019年3月7日)現在

項 目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	8,735,068,235円	8,124,974,672円	7,969,651,667円	6,942,285,994円	7,378,780,554円	7,187,461,118円
コール・ローン等	286,135,141	239,864,247	56,692,729	228,916,199	219,361,362	229,240,074
投資信託受益証券 (評価額)	8,448,920,078	7,885,097,410	7,512,945,924	6,713,356,781	7,159,406,180	6,958,208,032
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	13,016	13,015	13,014	13,014	13,012	13,012
未収入金	—	—	400,000,000	—	—	—
(B) 負債	181,169,216	126,392,892	367,709,782	155,298,691	137,137,670	132,235,501
未払金	—	—	200,000,000	—	—	—
未払収益分配金	112,638,443	112,012,270	109,953,372	109,615,181	108,913,187	105,781,520
未払解約金	58,223,390	5,861,857	48,966,392	37,411,645	20,001,944	18,758,876
未払信託報酬	10,243,993	8,403,919	8,621,356	8,053,675	7,956,264	7,384,962
その他未払費用	63,390	114,846	168,662	218,190	266,275	310,143
(C) 純資産総額 (A - B)	8,553,899,019	7,998,581,780	7,601,941,885	6,786,987,303	7,241,642,884	7,055,225,617
元本	12,515,382,646	12,445,807,861	12,217,041,341	12,179,464,588	12,101,465,323	11,753,502,234
次期繰越損益金	△ 3,961,483,627	△ 4,447,226,081	△ 4,615,099,456	△ 5,392,477,285	△ 4,859,822,439	△ 4,698,276,617
(D) 受益権総口数	12,515,382,646□	12,445,807,861□	12,217,041,341□	12,179,464,588□	12,101,465,323□	11,753,502,234□
1万口当り基準価額 (C/D)	6,835円	6,427円	6,222円	5,572円	5,984円	6,003円

*第83期末における元本額は13,012,741,466円、当作成期間 (第84期～第89期) 中における追加設定元本額は1,138,448,909円、同解約元本額は2,397,688,141円です。

*第89期末の計算口数当りの純資産額は6,003円です。

*第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,698,276,617円です。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）

■損益の状況

第84期 自 2018年9月8日 至 2018年10月9日 第86期 自 2018年11月8日 至 2018年12月7日 第88期 自 2019年1月8日 至 2019年2月7日
 第85期 自 2018年10月10日 至 2018年11月7日 第87期 自 2018年12月8日 至 2019年1月7日 第89期 自 2019年2月8日 至 2019年3月7日

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(A) 配当等収益	68,285,245円	69,910,141円	64,223,866円	64,974,292円	54,780,471円	56,207,661円
受取配当金	68,295,878	69,916,997	64,230,467	64,979,580	54,786,845	56,213,365
受取利息	113	26	6	34	12	5
支払利息	△ 10,746	△ 6,882	△ 6,607	△ 5,322	△ 6,386	△ 5,709
(B) 有価証券売買損益	176,099,842	△ 449,846,396	△ 195,315,982	△ 732,167,197	556,002,830	78,693,375
売買益	183,410,373	13,472,267	2,642,876	11,695,962	560,672,727	81,104,915
売買損	△ 7,310,531	△ 463,318,663	△ 197,958,858	△ 743,863,159	△ 4,669,897	△ 2,411,540
(C) 信託報酬等	△ 10,307,305	△ 8,455,624	△ 8,675,699	△ 8,104,602	△ 8,005,436	△ 7,430,166
(D) 当期損益金 (A + B + C)	234,077,782	△ 388,391,879	△ 139,767,815	△ 675,297,507	602,777,865	127,470,870
(E) 前期繰越損益金	△ 1,290,312,239	△ 1,095,696,374	△ 1,507,873,310	△ 1,656,550,906	△ 2,328,957,752	△ 1,713,890,494
(F) 追加信託差損益金	△ 2,792,610,727	△ 2,851,125,558	△ 2,857,504,959	△ 2,951,013,691	△ 3,024,729,365	△ 3,006,075,473
(配当等相当額)	(1,781,176,879)	(1,725,053,596)	(1,643,776,248)	(1,584,500,957)	(1,522,281,307)	(1,425,336,067)
(売買損益相当額)	(△ 4,573,787,606)	(△ 4,576,179,154)	(△ 4,501,281,207)	(△ 4,535,514,648)	(△ 4,547,010,672)	(△ 4,431,411,540)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 3,848,845,184	△ 4,335,213,811	△ 4,505,146,084	△ 5,282,862,104	△ 4,750,909,252	△ 4,592,495,097
(H) 収益分配金	△ 112,638,443	△ 112,012,270	△ 109,953,372	△ 109,615,181	△ 108,913,187	△ 105,781,520
次期繰越損益金 (G + H)	△ 3,961,483,627	△ 4,447,226,081	△ 4,615,099,456	△ 5,392,477,285	△ 4,859,822,439	△ 4,698,276,617
追加信託差損益金	△ 2,839,843,786	△ 2,901,683,311	△ 2,911,910,164	△ 3,003,759,182	△ 3,079,580,169	△ 3,058,745,482
(配当等相当額)	(1,733,943,820)	(1,674,495,843)	(1,589,371,043)	(1,531,755,466)	(1,467,430,503)	(1,372,666,058)
(売買損益相当額)	(△ 4,573,787,606)	(△ 4,576,179,154)	(△ 4,501,281,207)	(△ 4,535,514,648)	(△ 4,547,010,672)	(△ 4,431,411,540)
繰越損益金	△ 1,121,639,841	△ 1,545,542,770	△ 1,703,189,292	△ 2,388,718,103	△ 1,780,242,270	△ 1,639,531,135

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	65,405,384円	61,454,517円	55,548,167円	56,869,690円	54,062,383円	53,111,511円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,781,176,879	1,725,053,596	1,643,776,248	1,584,500,957	1,522,281,307	1,425,336,067
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,846,582,263	1,786,508,113	1,699,324,415	1,641,370,647	1,576,343,690	1,478,447,578
(f) 分配金	112,638,443	112,012,270	109,953,372	109,615,181	108,913,187	105,781,520
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,733,943,820	1,674,495,843	1,589,371,043	1,531,755,466	1,467,430,503	1,372,666,058
(h) 受益権総口数	12,515,382,646口	12,445,807,861口	12,217,041,341口	12,179,464,588口	12,101,465,323口	11,753,502,234口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	90円	90円	90円	90円	90円	90円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税込み 分配金 円	期騰 落率 %	(参考指数)	期騰 落率 %			
40期末(2016年10月7日)	4,848	100	△ 0.2	13,061	△ 1.2	0.0	98.8	283
41期末(2016年11月7日)	4,487	100	△ 5.4	12,604	△ 3.5	0.0	98.6	243
42期末(2016年12月7日)	4,985	100	13.3	13,372	6.1	0.0	98.5	257
43期末(2017年1月10日)	5,216	100	6.6	13,714	2.6	0.0	97.9	296
44期末(2017年2月7日)	5,031	100	△ 1.6	13,857	1.0	0.0	98.2	282
45期末(2017年3月7日)	5,222	100	5.8	14,357	3.6	0.0	98.2	312
46期末(2017年4月7日)	4,945	100	△ 3.4	14,250	△ 0.8	0.0	97.0	288
47期末(2017年5月8日)	5,024	100	3.6	14,502	1.8	0.0	98.6	279
48期末(2017年6月7日)	4,847	100	△ 1.5	14,684	1.3	0.0	98.3	274
49期末(2017年7月7日)	4,899	100	3.1	14,566	△ 0.8	0.0	96.1	306
50期末(2017年8月7日)	4,857	100	1.2	14,971	2.8	0.0	98.5	325
51期末(2017年9月7日)	4,780	100	0.5	14,903	△ 0.5	—	98.7	331
52期末(2017年10月10日)	4,907	100	4.7	15,381	3.2	—	98.4	345
53期末(2017年11月7日)	4,708	100	△ 2.0	15,662	1.8	—	98.8	330
54期末(2017年12月7日)	4,563	100	△ 1.0	15,892	1.5	0.0	98.6	322
55期末(2018年1月9日)	4,847	100	8.4	16,608	4.5	—	97.5	393
56期末(2018年2月7日)	4,487	70	△ 6.0	16,291	△ 1.9	—	97.7	379
57期末(2018年3月7日)	4,377	70	△ 0.9	16,490	1.2	—	98.9	347
58期末(2018年4月9日)	4,125	70	△ 4.2	15,743	△ 4.5	—	98.4	317
59期末(2018年5月7日)	4,004	70	△ 1.2	16,099	2.3	—	98.7	261
60期末(2018年6月7日)	3,971	70	0.9	16,757	4.1	—	99.1	247
61期末(2018年7月9日)	3,857	70	△ 1.1	16,682	△ 0.5	0.0	98.8	238
62期末(2018年8月7日)	3,858	70	1.8	17,229	3.3	0.0	98.6	228
63期末(2018年9月7日)	3,506	70	△ 7.3	17,396	1.0	—	98.4	224
64期末(2018年10月9日)	3,611	70	5.0	17,435	0.2	—	99.1	245
65期末(2018年11月7日)	3,457	70	△ 2.3	16,655	△ 4.5	—	98.6	247
66期末(2018年12月7日)	3,350	70	△ 1.1	16,296	△ 2.2	—	99.1	275
67期末(2019年1月7日)	3,063	40	△ 7.4	15,304	△ 6.1	—	98.5	255
68期末(2019年2月7日)	3,355	40	10.8	16,511	7.9	—	99.2	267
69期末(2019年3月7日)	3,363	40	1.4	16,752	1.5	0.0	98.8	269

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

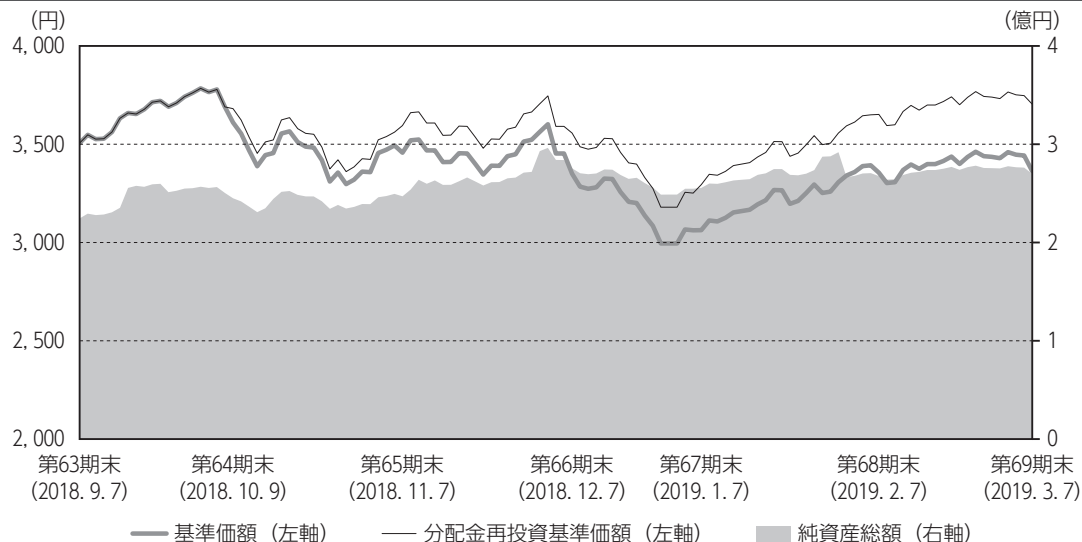
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第64期首：3,506円

第69期末：3,363円（既払分配金330円）

騰落率：5.6%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にクロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）に投資した結果、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／選定通貨（※1）買いの為替取引を活用した結果、株価は下落したものの、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）や選定通貨が対円でおおむね上昇したことがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）：オージェンタム・トラスト
 トクロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

※1 選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第64期	(期首) 2018年 9月 7日	3,506	—	17,396	—	—	98.4
	9月末	3,742	6.7	17,614	1.2	—	98.8
	(期末) 2018年10月 9日	3,681	5.0	17,435	0.2	—	99.1
第65期	(期首) 2018年10月 9日	3,611	—	17,435	—	—	99.1
	10月末	3,361	△ 6.9	16,215	△ 7.0	—	98.2
	(期末) 2018年11月 7日	3,527	△ 2.3	16,655	△ 4.5	—	98.6
第66期	(期首) 2018年11月 7日	3,457	—	16,655	—	—	98.6
	11月末	3,523	1.9	16,548	△ 0.6	—	98.4
	(期末) 2018年12月 7日	3,420	△ 1.1	16,296	△ 2.2	—	99.1
第67期	(期首) 2018年12月 7日	3,350	—	16,296	—	—	99.1
	12月末	3,066	△ 8.5	15,044	△ 7.7	—	97.6
	(期末) 2019年 1月 7日	3,103	△ 7.4	15,304	△ 6.1	—	98.5
第68期	(期首) 2019年 1月 7日	3,063	—	15,304	—	—	98.5
	1月末	3,307	8.0	16,205	5.9	—	89.6
	(期末) 2019年 2月 7日	3,395	10.8	16,511	7.9	—	99.2
第69期	(期首) 2019年 2月 7日	3,355	—	16,511	—	—	99.2
	2月末	3,436	2.4	16,878	2.2	—	98.7
	(期末) 2019年 3月 7日	3,403	1.4	16,752	1.5	0.0	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 9. 8 ～ 2019. 3. 7）

■ 米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市場は、当作成期首より、米中間の貿易摩擦の緩和期待などから上昇基調の展開となりましたが、2018年10月からは、米中貿易摩擦への懸念が再燃したほか、中国景気への懸念などを受けて下落しました。12月に入ると、景気の不透明感や金融政策への失望感も広がり、一段と下落しました。2019年1月から当作成期末にかけては、米中間の貿易交渉への楽観が広がったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げに慎重な姿勢などを背景に上昇しました。

■ 為替相場

選定通貨は対円で上昇しました。

当作成期首から2018年9月末にかけては、これまで新興国通貨の下落をけん引してきたトルコ・リラが中央銀行による大幅利上げにより反発したことで新興国通貨への選好が強まり、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。しかし10月に入ると、世界的に株価が下落し市場のリスク回避姿勢が強まったことで、選定通貨は対円でおおむね下落しました。2019年1月半ば以降は、米国の金融引き締め姿勢の後退から市場のリスク回避姿勢が和らいだことで、選定通貨は対円で上昇しました。

※当作成期においては、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、ブラジル・レアル、中国・人民元、フィリピン・ペソのすべての選定通貨が対円で上昇しました。

■ 短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。一方、米国の短期金利は、F R BがF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1.75～2.00%から2.25～2.50%に引き上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄から世界産業分類基準 (G I C S) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E 世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケッツ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

(2018. 9. 8 ~ 2019. 3. 7)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー（利息収入）収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

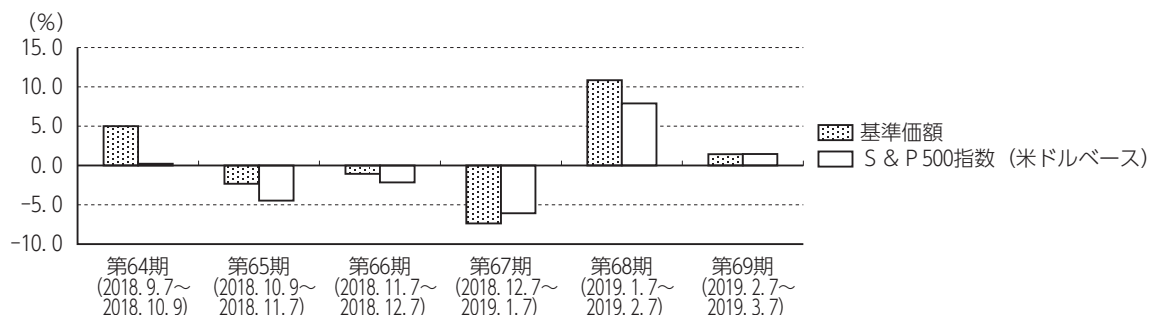
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期
	2018年9月8日 ～2018年10月9日	2018年10月10日 ～2018年11月7日	2018年11月8日 ～2018年12月7日	2018年12月8日 ～2019年1月7日	2019年1月8日 ～2019年2月7日	2019年2月8日 ～2019年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	70	70	70	40	40	40
対基準価額比率 (%)	1.90	1.98	2.05	1.29	1.18	1.18
当期の収益 (円)	53	52	44	40	38	40
当期の収益以外 (円)	17	17	25	—	1	—
翌期繰越分配対象額 (円)	397	381	358	367	367	371

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 53.00円	✓ 52.65円	✓ 44.24円	✓ 47.90円	✓ 38.52円	✓ 43.08円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 414.82	✓ 398.53	✓ 384.24	359.12	362.07	362.23
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	✓ 7.31	5.75
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	467.82	451.18	428.49	407.02	407.91	411.07
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	397.82	381.18	358.49	367.02	367.91	371.07

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C Sの金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第64期～第69期 (2018.9.8～2019.3.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0.654%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,396円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0.213)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0.428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(0)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0.658	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

決算期	第 64 期 ～ 第 69 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 2,719.54613	千円 103,396	千口 1,329.36495	千円 49,500

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

第 64 期 ～ 第 69 期						
銘 柄	買 付			売 付		
	口 数	金 額	平均単価	口 数	金 額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 2,085.28974	千円 80,100	円 38	千口 1,329.36495	千円 49,500	円 37

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年9月8日から2019年3月7日まで)

区 分	第 64 期 ～ 第 69 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 350	百万円 350	% 100.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	8,916,724	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	117,999	—	—	117,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 69 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	7,142,81919	266,505	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月7日現在

項 目	第 69 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	266,505	97.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	6,739	2.5
投資信託財産総額	273,344	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第63期末	第 69 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	99

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年10月9日)、(2018年11月7日)、(2018年12月7日)、(2019年1月7日)、(2019年2月7日)、(2019年3月7日)現在

項 目	第64期末	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末
(A) 資産	250,104,345円	252,272,936円	281,722,226円	261,089,382円	271,126,295円	273,344,728円
コール・ローン等	7,234,831	8,522,103	8,620,900	9,169,281	5,597,578	6,739,071
投資信託受益証券 (評価額)	242,769,554	243,650,883	273,001,385	251,820,160	265,428,786	266,505,726
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	99,960	99,950	99,941	99,941	99,931	99,931
(B) 負債	5,062,346	5,259,383	6,230,861	5,563,072	3,501,684	3,536,390
未払収益分配金	4,750,767	5,001,530	5,755,917	3,337,306	3,190,576	3,209,306
未払解約金	23,772	347	180,285	1,924,880	—	40,280
未払信託報酬	286,047	254,200	289,539	293,970	302,395	276,467
その他未払費用	1,760	3,306	5,120	6,916	8,713	10,337
(C) 純資産総額 (A - B)	245,041,999	247,013,553	275,491,365	255,526,310	267,624,611	269,808,338
元本	678,681,028	714,504,350	822,273,921	834,326,585	797,644,145	802,326,694
次期繰越損益金	△ 433,639,029	△ 467,490,797	△ 546,782,556	△ 578,800,275	△ 530,019,534	△ 532,518,356
(D) 受益権総口数	678,681,028□	714,504,350□	822,273,921□	834,326,585□	797,644,145□	802,326,694□
1万口当り基準価額 (C/D)	3,611円	3,457円	3,350円	3,063円	3,355円	3,363円

*第63期末における元本額は640,442,238円、当作成期間(第64期～第69期)中における追加設定元本額は348,248,055円、同解約元本額は186,363,599円です。

*第69期末の計算口数当りの純資産額は3,363円です。

*第69期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は532,518,356円です。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■損益の状況

第64期 自 2018年9月8日 至 2018年10月9日 第66期 自 2018年11月8日 至 2018年12月7日 第68期 自 2019年1月8日 至 2019年2月7日
 第65期 自 2018年10月10日 至 2018年11月7日 第67期 自 2018年12月8日 至 2019年1月7日 第69期 自 2019年2月8日 至 2019年3月7日

項 目	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期
(A) 配当等収益	3,693,528円	4,017,773円	3,929,783円	4,292,436円	3,109,585円	3,711,184円
受取配当金	3,693,924	4,018,019	3,930,098	4,292,689	3,109,984	3,711,393
受取利息	6	—	—	—	—	—
支払利息	△ 402	△ 246	△ 315	△ 253	△ 399	△ 209
(B) 有価証券売買損益	7,325,449	△ 9,092,693	△ 7,177,791	△ 24,250,086	22,516,798	345,023
売買益	8,034,447	53,967	7,409	241,182	24,127,257	352,968
売買損	△ 708,998	△ 9,146,660	△ 7,185,200	△ 24,491,268	△ 1,610,459	△ 7,945
(C) 信託報酬等	△ 287,807	△ 255,746	△ 291,382	△ 295,820	△ 304,249	△ 278,147
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	10,731,170	△ 5,330,666	△ 3,539,390	△ 20,253,470	25,322,134	3,778,060
(E) 前期繰越損益金	△ 125,477,899	△ 117,869,441	△ 126,568,282	△ 132,328,772	△ 137,975,618	△ 114,898,796
(F) 追加信託差損益金	△ 314,141,533	△ 339,289,160	△ 410,918,967	△ 422,880,727	△ 414,175,474	△ 418,188,314
(配当等相当額)	(28,153,382)	(28,475,383)	(31,595,740)	(29,962,484)	(28,880,963)	(29,063,416)
(売買損益相当額)	(△ 342,294,915)	(△ 367,764,543)	(△ 442,514,707)	(△ 452,843,211)	(△ 443,056,437)	(△ 447,251,730)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 428,888,262	△ 462,489,267	△ 541,026,639	△ 575,462,969	△ 526,828,958	△ 529,309,050
(H) 収益分配金	△ 4,750,767	△ 5,001,530	△ 5,755,917	△ 3,337,306	△ 3,190,576	△ 3,209,306
次期繰越損益金 (G + H)	△ 433,639,029	△ 467,490,797	△ 546,782,556	△ 578,800,275	△ 530,019,534	△ 532,518,356
追加信託差損益金	△ 315,295,248	△ 340,528,666	△ 413,036,486	△ 422,880,727	△ 414,175,474	△ 418,188,314
(配当等相当額)	(26,999,667)	(27,235,877)	(29,478,221)	(29,962,484)	(28,880,963)	(29,063,416)
(売買損益相当額)	(△ 342,294,915)	(△ 367,764,543)	(△ 442,514,707)	(△ 452,843,211)	(△ 443,056,437)	(△ 447,251,730)
分配準備積立金	—	—	—	659,306	465,531	709,132
繰越損益金	△ 118,343,781	△ 126,962,131	△ 133,746,070	△ 156,578,854	△ 116,309,591	△ 115,039,174

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,597,052円	3,762,024円	3,638,398円	3,996,612円	3,072,677円	3,456,706円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	28,153,382	28,475,383	31,595,740	29,962,484	28,880,963	29,063,416
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	583,430	461,732
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	31,750,434	32,237,407	35,234,138	33,959,096	32,537,070	32,981,854
(f) 分配金	4,750,767	5,001,530	5,755,917	3,337,306	3,190,576	3,209,306
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	26,999,667	27,235,877	29,478,221	30,621,790	29,346,494	29,772,548
(h) 受益権総口数	678,681,028□	714,504,350□	822,273,921□	834,326,585□	797,644,145□	802,326,694□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期
	70円	70円	70円	40円	40円	40円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド
 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／
 米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）／米ドル・コース（毎月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年3月7日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表
 2018年2月28日

資産	
投資資産の評価額（簿価 ¥89,677,904,378）	¥ 89,179,907,486
現金および現金同等物	136,165,139
スワップ契約による評価益	2,277,770
売却済み投資資産の未収金	114,096
その他資産	24
資産合計	89,318,464,515
負債	
スワップ契約による評価損	317,086,137
未払：	
終了済みスワップ契約	1,705,018,140
償還済み受益証券	56,000,000
管理会社報酬	28,567,759
専門家報酬	12,457,976
運用会社報酬	7,552,132
名義書換代理人報酬	5,944,285
為替投資アドバイザー報酬	139,019
受託会社報酬	94,753
負債合計	2,132,860,201
純資産	¥ 87,185,604,314
豪ドル・クラス	¥ 3,517,749,371
ブラジル・リアル・クラス	72,824,773,642
日本円・クラス	774,465,387
通貨セレクト・クラス	352,482,564
米ドル・クラス	9,716,133,350
	¥ 87,185,604,314

発行済み受益証券口数

豪ドル・クラス	37,093,710
ブラジル・リアル・クラス	1,259,800,536
日本円・クラス	8,714,346
通貨セレクト・クラス	7,576,564
米ドル・クラス	74,978,996

受益証券1口当り純資産額

豪ドル・クラス	¥	94.83
ブラジル・リアル・クラス	¥	57.81
日本円・クラス	¥	88.87
通貨セレクト・クラス	¥	46.52
米ドル・クラス	¥	129.58

損益計算書

2018年2月28日に終了した年度

投資収益

受取利息	¥	1,865,535
その他収益		6,496,223
投資収益合計		<u>8,361,758</u>

費用

運用会社報酬	118,622,222
管理会社報酬	60,968,975
専門家報酬	16,379,333
名義書換代理人報酬	11,969,950
受託会社報酬	1,182,252
為替投資アドバイザー報酬	484,783
その他費用	991,161
費用合計	<u>210,598,676</u>

投資純損失

(202,236,918)

実現益 / (損) と評価益 / (損) :

実現益 / (損) の内訳 :

証券投資	5,209,379,278
スワップ契約	457,627,455
外国為替取引および外国為替先渡契約	(201,562,310)
純実現益	<u>5,465,444,423</u>

評価益 / (損) の純変動の内訳 :

証券投資	(447,798,931)
スワップ契約	732,179,949
外国為替換算および外国為替先渡契約	218,266,578
評価益の純変動	<u>502,647,596</u>

純実現益および評価益の純変動

5,968,092,019

運用による純資産の純増

¥ 5,765,855,101

(日本円建て)

投資明細表
2018年2月28日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券口数	純資産に占める割合	評価額
CROCI Buy-Write Index* - トータル・リターン・スワップ	8,938,285	102.29%	¥ 89,179,907,486
ストラクチャード商品計 (簿価 ¥89,677,904,378)			89,179,907,486
投資資産計 (簿価 ¥89,677,904,378)		102.29%	¥ 89,179,907,486

*当ファンドは Deutsche Bank A. G., ロンドン支店との間で締結したファンドの残高と同金額の元本のパフォーマンス・スワップを通して CROCI Buy-Write Index と同様のエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
AUD	Deutsche Bank A. G.	43,599,273	2018/3/29	USD	(34,185,318)	¥ (21,931,606)	(0.03) %

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
BRL	Deutsche Bank A. G.	2,266,591,150	2018/3/29	USD	(698,243,245)	¥ (292,758,823)	(0.34) %

日本円・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
JPY	Deutsche Bank A. G.	778,115,740	2018/3/30	USD	(7,289,291)	¥ 2,277,770	0.00%

通貨セレクト・クラス為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に占める割合
CNY	Deutsche Bank A. G.	3,301,767	2018/3/30	USD	(522,591)	¥ (215,616)	(0.00) %
IDR	Deutsche Bank A. G.	7,496,885,809	2018/3/29	USD	(549,390)	(625,619)	(0.00) %
INR	Deutsche Bank A. G.	37,492,475	2018/3/28	USD	(576,190)	(356,884)	(0.00) %
MXN	Deutsche Bank A. G.	10,299,603	2018/3/28	USD	(549,390)	(575,906)	(0.00) %
RUB	Deutsche Bank A. G.	30,833,747	2018/3/30	USD	(549,390)	(362,724)	(0.00) %
TRY	Deutsche Bank A. G.	2,303,997	2018/3/30	USD	(602,989)	(258,959)	(0.00) %
合計						¥ (2,395,708)	(0.00) %

用語集:

AUD	豪ドル
BRL	ブラジル・リアル
CNY	人民元
IDR	インドネシア・ルピア
INR	インド・ルピー
JPY	日本円
MXN	メキシコ・ペソ
RUB	ロシア・ルーブル
TRY	トルコ・リラ
USD	米ドル

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2019年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を65ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

（2018年9月8日から2019年3月7日まで）

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 350,004		千円

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2019年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（77,635,863千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2019年3月7日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 350,000	千円 350,004	% 0.4	% —	% —	% —	% 0.4

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

（注3）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータ入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2019年3月7日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	801 国庫短期証券	% —	千円 350,000	千円 350,004	2019/03/18	

（注）単位未満は切捨て。

(3)国内その他有価証券

	2019年3月7日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,998	% <1.3>

（注1）< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

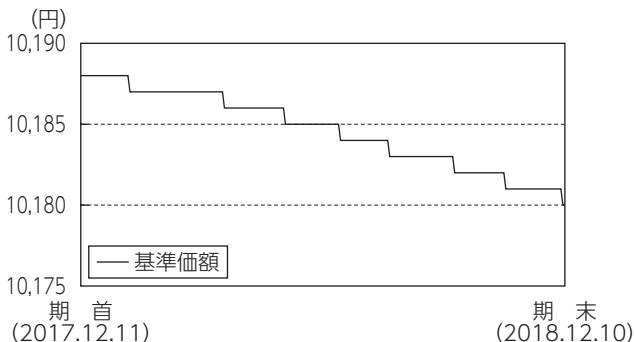
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,188	-	-
12月末	10,188	0.0	-
2018年1月1月末	10,187	△0.0	-
2月末	10,187	△0.0	0.5
3月末	10,186	△0.0	-
4月末	10,186	△0.0	-
5月末	10,185	△0.0	-
6月末	10,184	△0.0	-
7月末	10,184	△0.0	-
8月末	10,183	△0.0	-
9月末	10,182	△0.1	-
10月末	10,181	△0.1	-
11月末	10,181	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,180	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
- (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,188円 期末：10,180円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	890,004	(890,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
- (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	245,999,587	245,999,594 ()

- (注1) 金額は受渡し代金。
- (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	400,002		
731 国庫短期証券 2018/7/10	280,000		
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	80,270,040	100.0
投資信託財産総額	80,270,040	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	80,270,040,211円	
コール・ローン等	79,270,042,938	
現先取引(その他有価証券)	999,997,273	
(B) 負債	241,522,286	
未払解約金	240,343,000	
その他未払費用	1,179,286	
(C) 純資産総額(A-B)	80,028,517,925	
元本	78,610,288,449	
次期繰越損益金	1,418,229,476	
(D) 受益権総口数	78,610,288,449口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,180円	

* 期首における元本額は68,390,547,168円、当作成期間中における追加設定元本額は259,276,972,092円、同解約元本額は249,057,230,811円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIOT関連株ファンド -A I新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF Eグローバル・バリュ- (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワF Eグローバル・バリュ- (為替ヘッジなし) 98,069円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/ "R I C I"*

コモディティ・ファンド5,024,392円、U S債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、U S債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード53,768,983円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<クラブ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンド -ハジメの歩- 327,110,605円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ3,941,012,171円、ダイワファンドクラブ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト- 9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 13,743,005,794円、プルベア・マネー・ポートフォリオV 18,757,636,566円、プル3倍日本株ポートフォリオV 39,796,042,643円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 1,364,716,363円、ダイワF Eグローバル・バリュ-株ファンド (ダイワSMA専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー (ポートフォリオ) 121,376,415円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり) 145,491,182円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 米ドルコース285,029円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 日本円コース144,570円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 通貨αコース677,850円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,747,902円、D Cスマート・アロケーション・Dガード4,510,003円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,180円です。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 53,286,101円
受取利息	18,213
支払利息	△ 53,304,314
(B) その他費用	△ 8,395,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 61,681,950
(D) 前期繰越損益金	1,286,098,991
(E) 解約差損益金	△4,593,187,480
(F) 追加信託差損益金	4,786,999,915
(G) 合計(C + D + E + F)	1,418,229,476
次期繰越損益金(G)	1,418,229,476

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。